１０年後、どんな村にしたい（なってほしい）か？

子どもたちの笑顔があふれた

田畑や八ヶ岳の風景が自慢

若い人が沢山移住している村

村の総人口が〇万人　など

企業誘致等は企業側の意見を聞いてイターンしてみて、

総合計画はそれぞれの項目をもっと実施しても良いと思う

文化財は八ヶ岳ムラ第一、京、畜で一番に宣伝

人口は6,500人 親子が良い 子育ての施設等の充実 単身者なども

医療・福祉はそれ独自の施策をその地域村民と共同でやるものは共同で

子ども時代を楽しめる場所。

今の集落の絆はなくなる。自主的な組織で集落(学生)絆を

子どもに村の一員だと思ってもらう

↓

子どもが村づくりに参加する。(村民全員が参加)

こども議会から、こども役場

↓

村の問題全てを子ども達が話し合う

小学生「僕の友達は100歳です！」

0〜100歳の人が仲良くしていることで豊かだと思ってもらいたい

先ではなく今、10年間、いつでも「今」を良くしたいと考えて動けば、必ず素敵な村になる！

10年後でなく、「今」村にいてくれている子どもを大切に。村が好きなら戻ってきてくれる

帰ってきたくなる村。原村

極力住者が増えるのではなく、戻ってくる人が多い村

そのためには、原村を子どものうちに好きになってもらう(あそび、居場所)

屋内と屋外どちらも充実した子どもの居場所

あやめ園周辺にリーダーハウス付きのプレイパークを。

自然の中でみんなが交流している村

ちょっとくらい不便でも、村が好きなら戻ってくる。

そして良くしようと村が好きなら動いてくれる。

高齢者のIターンだけではなく、若い人が来たい村。

今の子ども達、将来の子ども達が「好きだ」と思える地元にする。

自然文化園は歩いて行けない

歩いていける場所は、子どもも おじいちゃんおばあちゃんも行ける。

多くの世代が交流できる公園を中心地に

登下校中にあそべる場。

「うちでお茶していっていいよ」の家。(仮称)

(子どもの居場所ではなく安心して寄れる)

を村内に。

分かりいい看板でもつける。

見回りや通学路に立つではなく、自然と外にいる人が知り合いで安心

今回のワークショップに誘った高校生に言われた一言です…

こども議会で言っても実現しなかったからどうせ今回もイヤダ」こんな思いを子ども達にさせない村を。

１０年後をイメージした村の実現のために必要な取り組み

例えば

若い人が農業に携われる環境

美

子

農業振興 1軒の集落農業はできなくなったので京都会伊の国際・法人化を早く設立すべき

ゾーニングを担保するための強い環境保全条令の作成

65歳以上医療の制度の見直し

温泉が不可欠もみの湯

自然保護と産業(農業)のバランスのとれた発展(村の売色として)

田んぼや畑森・川・原っぱ 自然 遊ぶ場所として残してほしい。

地域への子どもの参加。親の参加。おじいちゃん・おばあちゃんの参加一緒に作る村。

自然は流れ人工の別荘等ばかり考えるが土地の利用も自然ではない

特色ある農産物の育成

教育を大切にする村づくり。(人間性を大切にしたものを)

環境、産業、子育て、福祉、教育の総合的なプランニングを

「子育て」(親・大人)ではなく「子育ち」(子ども自身)を大切にする村

(ex 学童長時間はいいけど本当に居たい場所になってるか?)

みんなが集まってさわげる場がほしい。

子どもと大人の間での、交流が少ない。あいさつなど簡単な事から子ども、もっとやるべきである。

今の小学生・中学生が卒業したい村にしてみべき

「今」の村が住みやすければ、もどってくる。

もっと星をアピールしていくべきだと思う

セロリも原村のブランドとして、人の目につく所でのアピール。

この10年で外あそびが減っている、今やらないと10年後にはなくなる

~~公民館~~ 原村公民館1ヶ所だけでなく各地区で講座など。

人の集まれる機会づくり)

(企画者、活動支援金)

村全体を大切だけど、地区での活動も大切に

企画力、創造力のある子どもを…

↓

成功するかしないかではなく、まず始められる機会を。

ex. 年50万、村モニに使っていいよ。を考える授業。

野菜づくりがあたりまえの村(家庭菜園の支援。特に若い人だけの家庭)

農業を教えてもらえる機会作り。

農家を含めて働ける場所作り。

高校生無料は考えます。65(70?)は診療所だけ無料

新たなイベントも楽しいが、今ある伝統行事も出来るだけ残していく。

住民の中に多くの技術を持っている人がいるので、大いに活用したらどうか。

その他

この中から「10年後までにやろう」ではなく「10年後のために今からやろう!!」という計画をお願いします。この5回のワークショップに参加した村民の声もムダにしないで下さい。

高校生がいなかったグループから子どもについての意見が少なかったのが気になりました。このワークショップを小・中・高を対象として実施して下さい。(この時はぜひ(okoseee)に声をかけて下さい。全力で協力したいです)

子どものことを大切にしている大人の姿を子どもに見てもらうコトで地域を好きになると思う

大人が全力で子どものことを考える会議を大人と子ども一緒にやりましょう。

シカの牧場はとてもいいのでは。富士見のルバーブのようにブランド化を

正直、農業の村はいくらでもあるので…